

「みんなが利用したくなる生活交通推進会議」について

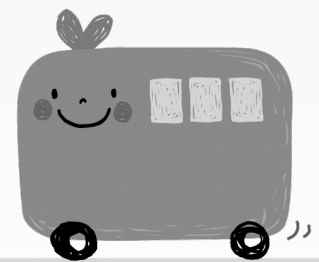
路線バスや鉄道・タクシーなどの公共交通機関「生活交通」は、児童生徒の通学や高齢者の通院・買い物などに欠かせないものです。でも年々利用者が減り続け、一部では運行を続けることが困難な地域もあります。

わたしたちの生活に欠かせない「生活交通」を将来にわたって維持するために、もっと快適で、もっと便利にし、みんなで利用していく必要があります。

安全・快適・便利で環境にやさしい生活交通実現のために、ともに考え行動していきましょう。



やさしい乗り物、
わたしたちの公共交通
みんなが利用したくなる生活交通推進会議



生活交通はなぜ必要なの？（生活交通Q&A）

Q 生活交通ってどういうもの？

A 通勤や通学、買い物など、私たちの暮らしに欠かせない身近な交通機関のことで、山口県では、路線バスが生活交通として大きな役割を果たしています。

Q 路線バスは私たちの税金で走っているってホント？

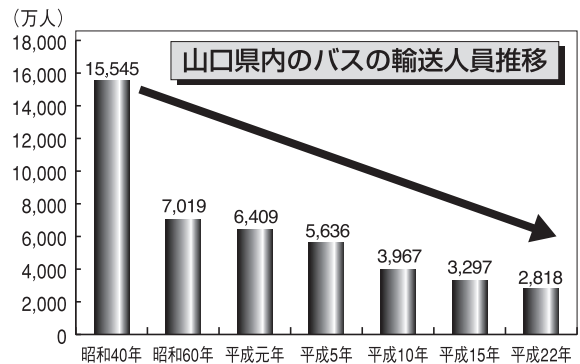
A 本当です。路線バスは、高齢者や児童・生徒など、クルマを利用できない人たちには欠かせない移動手段ですが、利用者が減少して採算がとれず、補助金なしでは運行できない路線がたくさんあります。すべての人が自由に移動でき、豊かな生活が送れるためにも、国や県、市町が役割分担をして、貴重な税金を活用して路線バスを維持しているのです。

Q 私たちに何ができるの？

A 日常生活で誰もが自由に移動できるように、生活交通はこの先も守っていかなければなりません。そのためには、それぞれの地域で、どのような生活交通が良いのか自らのこととして話し合い、自分たちの生活交通をしっかりと築いていくことが必要です。そして、何よりも、みんなで少しでも利用して、自分たちの生活交通を守り育てていかなければならないのです。

Q 山口県の生活交通はどのような状況なの？

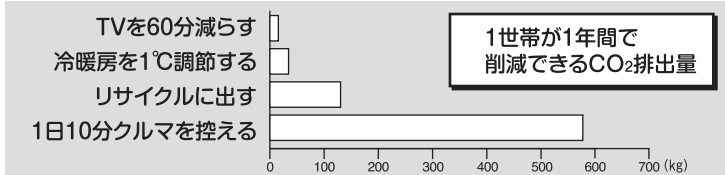
A マイカーの普及などにより、県内の路線バスの利用者は、ピーク時（昭和40年）の約5分の1に減っています。鉄道やタクシーも同じような状況です。さらに、燃料価格の上昇などで事業者の経営状況は厳しくなっていて、今までどおりの運行を続けていくことが難しくなっています。



Q 生活交通を利用すると何か良い事があるの？

A <メリット1> 環境にやさしい

クルマの利用を少し減らすだけで、何十倍も、効率的にCO₂を減らせます。



例えば、1日10分だけクルマを控えれば、テレビを1日1時間控えた時の45倍もCO₂を削減できます。

資料)国土交通省

<メリット2> 交通渋滞が緩和されます。

朝夕の混雑時など、クルマでの移動を控えて生活交通を利用することで、交通渋滞が緩和されます。

<メリット3> 交通事故の危険が減少します。

近年、高齢者の運転による事故が増加していますが、生活交通を利用すれば安全に、安心して移動できます。

<メリット4> 健康でいきいきとした生活が送れます。

バス停や駅まで歩く機会が増えるなど、消費カロリーも増加し、健康維持に貢献します。また、高齢者も自由に外出ができて、豊かな社会生活を送ることが可能となります。

この他にも、車内で安心して読書や一休みなど、自由な時間を過ごすことができます。また、他の乗客とお話をして交流を図ることもできます。

《参加団体》

山口県自治会連合会、山口県地域消費者団体連絡協議会、山口県連合婦人会、(財)山口県老人クラブ連合会、山口県PTA連合会、山口県社会福祉協議会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、日本青年会議所中国地区山口ブロック協議会、山口県病院協会、山口大学、西日本旅客鉄道株式会社広島支社、錦川鉄道株式会社、防長交通株式会社、サンデン交通株式会社、船木鉄道株式会社、ブルーライン交通株式会社、宇部市交通局、岩国市交通局、いわくにバス株式会社、石見交通株式会社、中国ジェイアールバス株式会社、山口県バス協会、山口県タクシー協会、中国運輸局山口運輸支局、中国地方整備局山口河川国道事務所、山口県市長会、山口県町村会、山口県警察本部、山口県